

<実りを待つお方>

ルカ13：6～9

「教育する」educateの語源はラテン語「educatus」
「e」…外へ 「ducere」…導く
「能力を導き出す、引き出す」という意味。

- ◆子どもたちの内に与えられている
"gift"（賜物）を引き出し、輝かせるという意味が
「educate・教育する」にはある。しかし…
educate・教育には時間がかかる = 待つ事

私はぶどうの木であなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、
わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの
実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることが
できないからです。 ヨハネ15：5



あなたがたは以前は暗闇でしたが、今は主にあって、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。

エペソ5：8

光しか知らない光の子ではなく、暗闇の辛さ、苦しさを知っている「光の子」

【実らない、いちじくのとえ】

- ・主人はぶどう園の中にいちじくの木を植えた
- ・いちじくの実りを3年間、期待して待ったが、実りはなかった
- ・「さっさと切り倒してしまえ」とぶどう園の番人に命じた

- ◆実を結ばず役に立たないものという目で自分自身を見るなら
「自分は意味がない存在だ」と思い悩むでしょう。

しかし！ ぶどう園の管理を任された番人は、いちじくの木をかばうように猶予を求めた。
「もう一年このいちじくの木にチャンスを与えてやってください。
木の周りを掘って、肥料を与えたら、今度は実を実らせるかもしれない。
私が全力を尽くし、あらゆる手立てを講じてみますから」

いちじくの世話をしていた番人とはだれ？

「待ってやってください」と主人に頼んだ。

ぶどう畑の中に在るいちじく・・・周りと違う自分

- ◆子どもが成長する過程で「みんなの中のひとり」である自分に気づくときがくる
「自分と違うみんな」に出会い、「みんなと違う自分」に気づく経験をしながら成長。

「待つ」＝「時間をかける」 忍耐がいる！

番人は「必ず実る」と確信に満ちた期待があった。
だから「待ちましょう！時間を掛けましょう！」と言った。

- ◆目にする現実を見ながらも、まだ見ない将来に対して「こうなる」という
ビジョンを描いているなら、相手に投げかける言葉の内容が変わる。
- ◆大人たちが子どもたちの成長を願うというのは、
 - ①まだ起こっていない出来事を信じること
 - ②見えていない出来事を期待して待つこと

人間・・・ギリシャ語で「アンセロポス」*ανθρώπινος*
上を向く者、天を仰ぐ者という意味

- ◆「上を向く者」として生きるということは、イエスさまがどのように見て
くださっているか、思っていてくださるかを求めて生きるということ。